

| | | | | | |
|--|--|---------------------------------|--|--|---------------|
| 石川工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和04年度 (2022年度) | 授業科目 | 第2 外国語 (ドイツ語) |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 20082 | | 科目区分 | 一般 / 選択 | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 電気工学科 | | 対象学年 | 5 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 教科書: 第三書房『聴いて学ぶドイツ語』 / 教材等: 独和辞典 | | | | |
| 担当教員 | 田中 まり | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1. 日常的な会話がスムーズにできること。 2. ドイツ語の実用的な文章の内容が理解でき、依頼や報告といった実用的な通信文が書けること。 3. ドイツ語圏の歴史や文化について、より深い理解を得ること。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 | ドイツ滞在に必要なドイツ語会話についての知識を有し、場面に応じて活用できる。 | ドイツ語会話の内容を理解し、場面に応じた会話ができる。 | ドイツ語会話の内容が理解できず、適切な会話ができない。 | | |
| 評価項目2 | 実用的な文章の内容が正確に理解でき、依頼や報告などの通信文が書ける。 | 実用的な文章の内容が理解でき、定型的な通信文が書ける。 | ドイツ語についての知識が不十分で、文章の読解がスムーズにできない。 | | |
| 評価項目3 | ドイツ語圏の社会や文化についての知識を深め、それに基づいて適切な判断・対応ができる。 | ドイツ語圏の社会や文化について理解し、適切な対応ができる。 | ドイツ語圏の社会や文化についての理解が不十分で、適切な判断・対応ができない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 本科学習目標 1 本科学習目標 3 創造工学プログラム C1 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 平易なドイツ語の文章の読解を通じて初級文法を一通り学び、技術者として必要な、ビジネスレターや報道記事を理解できる程度の読解力を身につける。さらにドイツ語圏の歴史や社会について、特に環境保護意識の高さや移民労働者問題などについても学び、国際社会を多面的に考える能力を習得する。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 【授業の進め方】講義・演習・小テスト・課題により行う。 1. 独和辞典(独英辞典でもよい)の使い方を詳しく講習します。古いものでもかまわないので必ず購入しておいてください。 2. 授業時間内に文章を読む場合もあるので、授業には辞書を持ってきてください。 3. ドイツ語圏への理解を深めるために、ドイツの映画や映像を見ることがあります。注意深く見てください。 【事前事後学習など】 授業の最後に読解や作文の課題を指示した場合は、次回までに必ずやってきてください。 | | | | |
| 注意点 | 授業に際しては教科書と筆記具、ノートなどの記録用紙を持参してください。小テストは毎週実施・毎週返却を原則としますので記憶の定着に役立ててください。 【評価方法・評価基準】前期中間・前期末・後期中間試験を実施する。成績の評価基準として60点以上を合格とする。前期成績は前期中間試験と前期期末試験の平均点を50%、さらに演習実績や小テストの成績を50%として計算する。後期成績は後期中間試験を50%、さらに演習実績や小テストの成績を50%として計算する。学年末成績は前期成績と後期成績の平均とする。 | | | | |
| テスト | | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ドイツ語の発音規則 | ドイツ語の発音規則を覚えて活用できる。 | |
| | | 2週 | 第一課 あいさつ | ドイツ語のあいさつを理解・活用できる。 | |
| | | 3週 | 第二課 電車に乗る・買物をする | ドイツ語で質問ができ、買物の際の定型文が発音できる。 | |
| | | 4週 | 第四課 文法 (動詞の現在形) | 動詞の現在形について理解・活用できる。 | |
| | | 5週 | 第四課 文法 (基本的語順) | ドイツ語の平叙文・疑問文・強調文の語順が理解・活用できる。 | |
| | | 6週 | 第五課 文法 (動詞の過去形) | 動詞の過去形について理解・活用できる。 | |
| | | 7週 | 第六課 文法 (名詞の性と定冠詞の格変化) | 名詞の性と定冠詞の格変化について理解・活用できる。 | |
| | | 8週 | 第六課 文法 (不定冠詞の格変化) | 不定冠詞の格変化について理解・活用できる。 | |
| | 2ndQ | 9週 | 第六課 文法 (指示代名詞・所有代名詞の格変化) | 指示代名詞・所有代名詞の格変化について理解・活用できる。 | |
| | | 10週 | 第九課 否定冠詞keinとnichtの位置 | 否定の表現について理解・活用できる。 | |
| | | 11週 | 第四課 自己紹介 | 教科書の自己紹介文に習って自己紹介文を作成し、発音できる。 | |
| | | 12週 | 第四課 喫茶店での注文 | 喫茶店で注文し、勘定を済ませる表現を理解・活用できる。 | |
| | | 13週 | 第五課 趣味や好みについて話す | 趣味や好みについての会話を理解し、自分の趣味や好みについても述べられる。 | |
| | | 14週 | 第五課 昨日の出来事について話す | ドイツ語での過去の出来事を記述した文の内容を理解し、自分の行動についても記述できる。 | |
| | | 15週 | 前期まとめ | 自己紹介文を作成し、それぞれ発表する | |

| | | | | |
|----|------|-----|--------------------|--|
| | | 16週 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 第六課 文法（前置詞の格支配－1） | 前置詞の格支配について理解・活用できる。 |
| | | 2週 | 第六課 文法（前置詞の格支配－2） | 前置詞の格支配について理解・活用できる。 |
| | | 3週 | 第六課 写真を見ながら家族を紹介する | 家族についての紹介文を理解し、自分でも作成する。 |
| | | 4週 | 第七課 文法（名詞の複数） | 名詞の複数形について理解・活用できる。 |
| | | 5週 | 第七課 文法（形容詞の用法） | 形容詞の付加語的用法について理解・活用できる。 |
| | | 6週 | 第七課 文法（分離動詞） | 分離動詞について理解・活用できる。 |
| | | 7週 | ドイツのクリスマス | ドイツのクリスマスについての文章を読み、お菓子のレシピやクリスマスマーケットの映像を見て理解を深める。 |
| | | 8週 | 第七課 フーズムへ向かう | ドイツの作家シュトルムとその故郷フーズムについての文章を読んで、内容を理解する。 |
| | 4thQ | 9週 | 第八課 話法の助動詞 | 話法の助動詞について理解し、活用できる。 |
| | | 10週 | 第八課 再帰動詞 | 再帰動詞について理解し、活用できる。 |
| | | 11週 | 第八課 フーズムを回る | シュトルムの作品についての文章を読み、内容を理解する。 |
| | | 12週 | 第九課 完了形 | 完了形について理解し、活用できる。 |
| | | 13週 | 第九課 未来形 | 未来形に浮いて理解し、活用できる。 |
| | | 14週 | 第九課 ペトラの家族に会う | ペトラの故郷ヴァイマルで、家族に紹介される場面の文章を読み、内容を理解する。特に紹介の際に必要な表現を学ぶ。 |
| | | 15週 | 後期まとめ | 自分が紹介したい日本の事物を選んで、外国人に説明する原稿を日本語で作る。 |
| | | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|-------------|----|------|-----------|-------|-----|
| 評価割合 | | | | | |
| | 試験 | 発表 | 相互評価 | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | 50 | 20 | 10 | 20 | 100 |
| 基礎的能力 | 50 | 20 | 10 | 20 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |